

「学校間交流・事前学習」指導略案

日 時：令和元年6月20日(木)2校時 9:50～10:40
 場 所：中学校 2年5組教室
 対 象：男子19名 女子17名
 授 業 者：島袋真喜子(大平特別支援学校教諭)
 担当研究主事：赤嶺加奈江

障害のある者もない者も共に協働して生活する社会へ向けて、生徒が「これだったら一緒に働けそうだ」と共生社会への見通しが持てるような交流及び共同学習を計画。事前学習、学校間交流、事後学習と一連の流れを実施する。

今回の事前学習では特別支援学校での支援の様子を紹介し、見え方聞こえ方の体験、VTRの視聴を通して「困っている人」の理解の仕方、接し方について考えることができるようにしたい。これらのことを踏まえて学校間交流の流れや目標を確認し、交流への興味・関心を育む授業を展開したい。

交流では、特別支援学校の生徒の「いいところ探し」を目標に交流することとし、「支援されながら力を発揮している」特別支援学校の生徒と出会うことで理解をさらに深めたい。

事後学習では、交流したときに「楽しかったこと」「困ったこと」を振り返り、「困ったこと」に対しては特別支援学校の先生からの見方(解決方法)を紹介するなどし、次の交流に向けての意欲を育みたい。

本時の目標

- 1 「大平特別支援学校」の事について知る(知識・技能)
- 2 「困っている人」の理解の仕方、接し方について考える(思考力・判断力・表現力)
- 3 交流の流れを知り、興味・関心を持つ(学びに向かう力・人間性等)

	流れ	生徒の活動	教師の支援	
	はじめに 自己紹介 本時の流れを 確認	本時の流れを知る	カードやタイマーを使い、視覚的に本時の流れを説明する。	カード、タイムタイマー
	大平特別支援学校について	授業の様子、個別の支援について知る	授業や支援の様子を写真で紹介する	パワーポイント
	体験(見え方、聞こえ方)	視覚障害の眼鏡やイヤーマフを体験する	メガネやイヤーマフの説明をする。	視覚教材眼鏡 イヤーマフ
	VTR視聴(前半) どうして? こうしたら!	自分の考えを付箋(ピンク)に書く ・困っていることは何? ・どうしてだろう? ・こうしたらうまくいく	「困っていることは何」「どうしてだろう」とVTR視聴のポイントを確認し、「こうしたらうまくいく」という自分の考えを付箋(ピンク)に書くように	VTR 「どうして覚えられない」 付箋(ピンク) フラッシュカード

VTR視聴(後半) こうしたら!	隣の人の考え(付箋)を見る VTRの考え方を知る ・自分の考えと違うものがあったら、付箋(水色)に書く	説明する。隣の人と考えを交換した後、黒板に貼るよう促す。 VTR でしていた工夫で気づいたことを付箋(水色)に書かせ、前に貼るよう促す。	ード VTR 「どうして覚えられない」 付箋(水色)
家族の気持ち	家族の「どうしてだろう」「こうしたら」のエピソードを知る	アンケートからの家族の思いを紹介する。	掲示物 家族の気持ち
交流について 内容、日程	交流の日程、内容について知る 交流のミッションを知る	交流では「いいところ探し」を目標とすることを説明する。	掲示物 メンバー表
おわりに 本の紹介 ビデオレター、メンバー表について	家族、本人が書いた本を知る 今後、ビデオレター、自己紹介写真の作成があることを知る	障害者の「こころの音がきける本」として、紹介する。ビデオレター、自己紹介写真の協力願いをする。	本6冊

VTR: NHK for school「u&i どうしておぼえられない？」

授業者の評価

◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない

授業における基本事項	項目	評価	備考
タイムマネジメント	簡潔な説明と的確な指示ができたか		
目標・まとめ・振り返り	目標の設定・提示はできたか		
発問	学習のねらいにつながる、意図的・計画的な発問はできたか		
思考・判断・表現	課題について生徒自身が考えを持つ場面の設定ができたか		
環境・連携・教材・教具	教材・教具は生徒の興味関心や発達を考慮したものであったか		

○生徒の様子で気づいたことがありましたらお書きください。

○授業について気づいたことがありましたらお書きください。